

第5章

調査地区総点検(フィールドワーク)

5 - 1 調査地区総点検(フィールドワーク)の実施

1. フィールドワークの目的

本構想を策定するにあたり、アンケート調査による市民意向の収集・反映に加え、調査地区を実際に歩く(移動する)ことによって、これまでに判明している交通バリアや新たな交通バリアについて把握・発見し、バリア解消のために必要な対策を検討するための基礎資料とすることを目的としています。

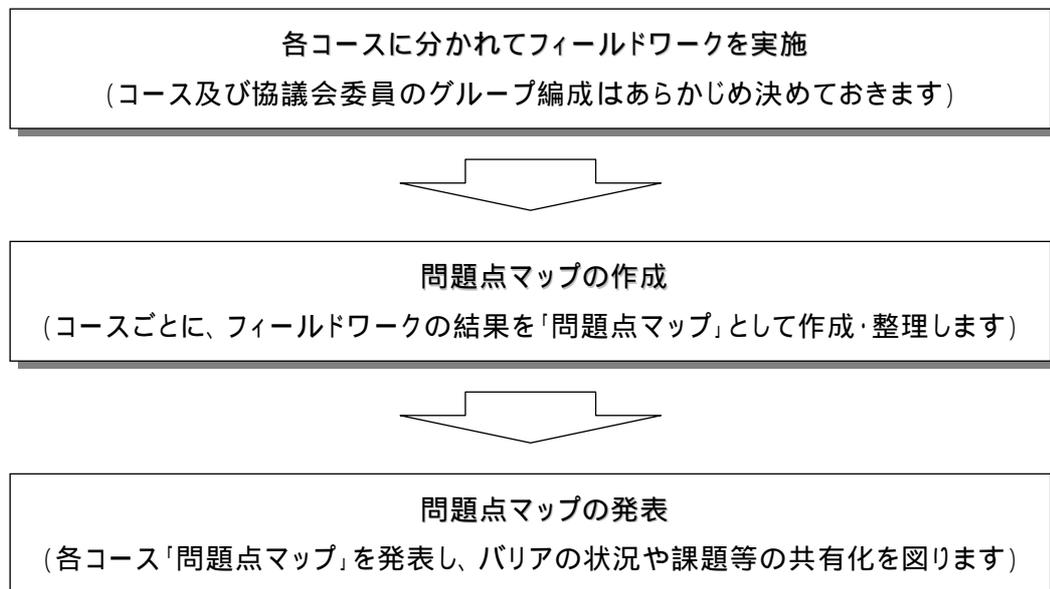
2. 実施方針

(1) 実施日程

平成 16 年 9 月 3 日(金)午後

(2) フィールドワークの流れ

フィールドワークは基本方針検討協議会委員を中心としたメンバーで実施しますが、具体的には以下のような流れで実施します。フィールドワーク終了後は、その結果を「問題点マップ」として作成し、調査地区におけるバリアの状況の把握と問題点・課題について情報の共有化を図ります。



(3) フィールドワークコースの設定とグループ編成

実施にあたり、「第2章 計画条件の整理」「第3章 バリアフリーに対する市民意向調査」及び「第4章 調査地区の概況整理」の結果を参考にしながら、調査地区において重点整備地区設定の見通しをつけるためのコースを3コース設定しました。

なお、設定した3コースそれぞれについて、主に基本方針検討協議会委員を中心としたグループ編成をおこないました。

Aコース...新富士駅駅舎内及び新富士駅北側地区を中心にまわるコース。

ステーションプラザFUJI(スタート) 北口駅前広場 一般県道富士停車場線[(都)田子浦伝法線] 柳島日東地区内 市道50-1号線[(都)前田宮下線] 柳島日東地区内 新富士駅駅舎内 ステーションプラザFUJI(ゴール)

Bコース...土地区画整理事業が実施されている新富士駅南地区をまわるコース。

ステーションプラザFUJI(スタート) 南口駅前広場 一般県道富士停車場線[(都)田子浦伝法線] 国道1号富士由比バイパス[(都)国道1号バイパス線] 市道175号線 市道176号線・柳島公園 ステーションプラザFUJI(ゴール)

Cコース...新富士駅～富士駅間の、バス路線等を中心にまわるコース。

ステーションプラザFUJI(スタート) 一般県道富士停車場線[(都)田子浦伝法線] 市道50-2号線[(都)前田宮下線] 市道4483号線 一般県道富士停車場線[(都)蓼原水戸島線] 富士第二小学校周辺 市道50-2号線[(都)前田宮下線] ステーションプラザFUJI(ゴール)

表. フィールドワークグループ編成(敬称略)

グループ編成	所属等	氏名	
A コース	市民中心メンバー	悠容クラブ連合会	川上 惟幸
		身障者連合会(視覚)	鈴木 利一
		上記同伴者	鈴木 きぬ恵
		身障者連合会(聴覚)	鈴木 礼子
		上記手話通訳者	瀧 八重子
		身障者連合会(四肢)	市野 隆
		市街地整備課	鈴木 潤一
B コース	市民中心メンバー	ハイネット・ふじ	廣瀬 巖
		身障者連合会	菊池 光男
		身障者連合会(聴覚)	関口 嘉智子
		上記手話通訳者	森 つゆき
		悠容クラブ連合会	杉山 安廣
		駅南地区福祉推進會	野中 俊昭
		新駅南地区整備室	杉山 弘宜
C コース	市職員中心メンバー	企画課	渡辺 悟
		社会福祉課	渡辺 浩仁
		生きがい福祉課	尾澤 聡
		障害福祉課	磯部 亨志
		地域安全課	橋本 かず子

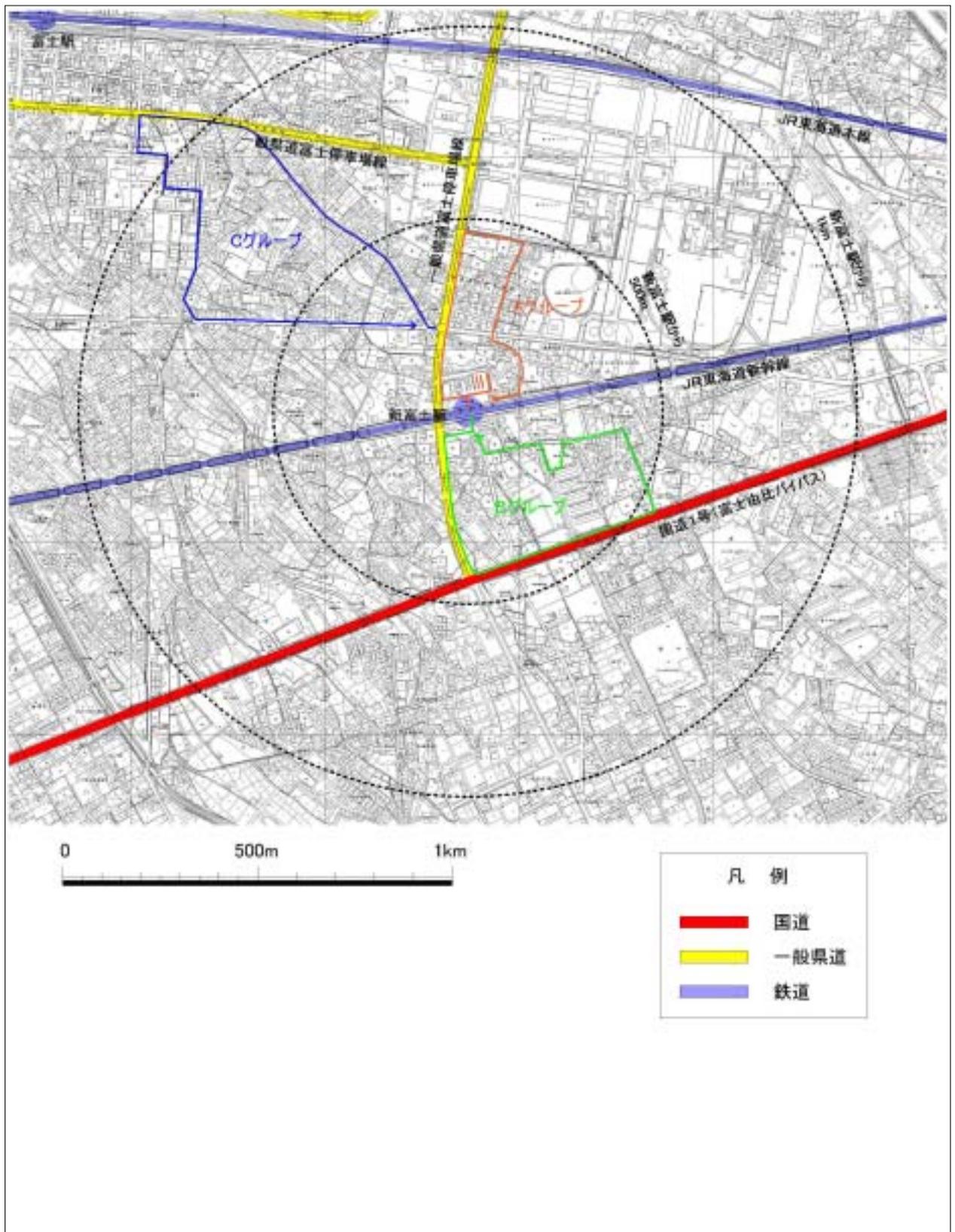


図. フィールドワーク実施コース

(4) フィールドワークの実施要領及び視点

フィールドワークは以下の要領及び視点で実施しています。

交通バリアのあった箇所・種類・意見(改善策等)を記録として残す。

バリアの種類

どのようなバリアなのか？通行上どのような支障があるのか？

意見(改善策等)

バリアを解消するために必要なこと・望ましい整備(改善)内容を記録。

交通バリアを探す上での視点

下表を参考にしながら、コース上のバリアについてチェック。

表. 交通バリアを探す上での視点(例)

施設	項目	視点
歩道 及び道路	有効幅員	幅員は十分か？狭いか？
	勾配	勾配は緩いか？きついか？
	舗装	舗装面の状態は良好か？粗悪か？
	高さ	車道部との高さや歩車分離の状況は？
	視覚障害者用誘導ブロック	誘導ブロックは整備されているか？見やすいか？
	照明施設	照明施設は設置されているか？
	案内標識	案内標識は設置されているか？分かりやすいか？
	休憩施設	休憩施設は設置されているか？不足していないか？
	横断歩道接続部	スムーズに横断歩道を渡れるか？
	車両乗り入れ部	車両乗り入れ部の状況は？
	信号交差点	音声等による誘導がなされているか？十分な信号現示(青の時間など)があるか？
立体横断 施設 (歩道橋 など)	階段	階段は上りやすいか？
	エレベーター	エレベーターは設置されているか？利用しやすいか？
	エスカレーター	エスカレーターは設置されているか？利用しやすいか？
	スロープ	スロープ等は設置されているか？勾配はきつくないか？
バス停	歩道等の高さ	バスに乗り込みやすい歩道の高さか？
	ベンチ・上屋	ベンチや上屋など、悪天にも対応しているか？
駐車場	障害者用駐車スペース	十分な駐車スペースがあるか？
	障害者用乗降スペース	十分な乗降スペースがあるか？
鉄道駅舎	駅舎出入口(ドアなど)	駅舎へは入場しやすいか？入場ににくいかな？
	スロープ	スロープ等は設置されているか？勾配はきつくないか？
	エレベーター	エレベーターは設置されているか？利用しやすいか？
	エスカレーター	エスカレーターは設置されているか？利用しやすいか？
	改札口の幅	十分な幅が確保されているか？
	障害者対応トイレ	利用しやすいトイレとなっているか？
	階段手すり	利用しやすい位置に手すりが設置されているか？
	障害者対応券売機	どんな障害者でも利用しやすい券売機か？
	視覚障害者誘導ブロック	誘導ブロックは整備されているか？見やすいか？
	点字案内板	点字案内板は設置されているか？不足していないか？
	音声誘導等	音声誘導は設置されているか？不足していないか？
	車椅子用渡し板	車椅子でも電車に乗り込めるか？
	ホームドア・柵	安全対策は図られているか？

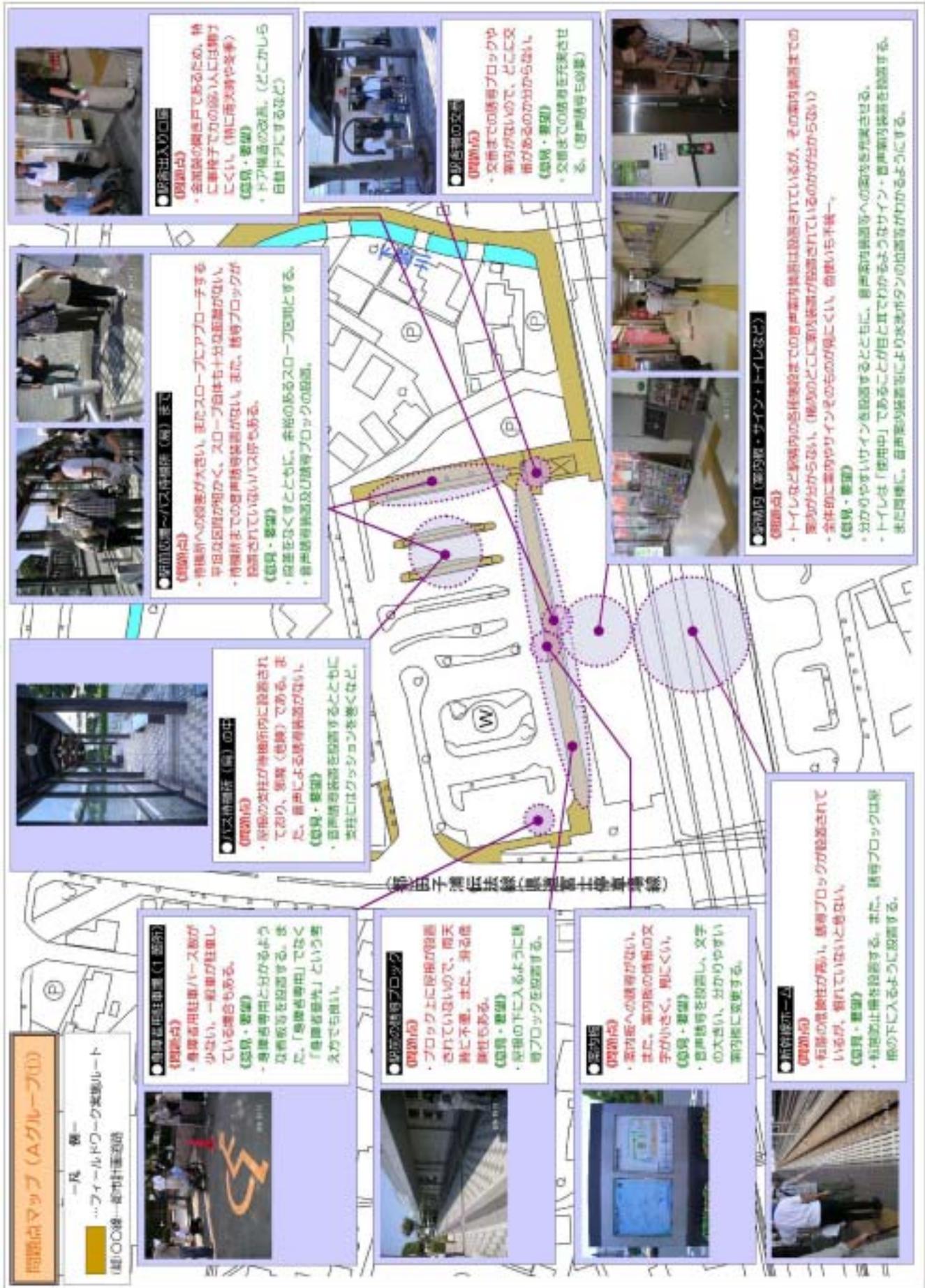
3. 問題点マップの作成

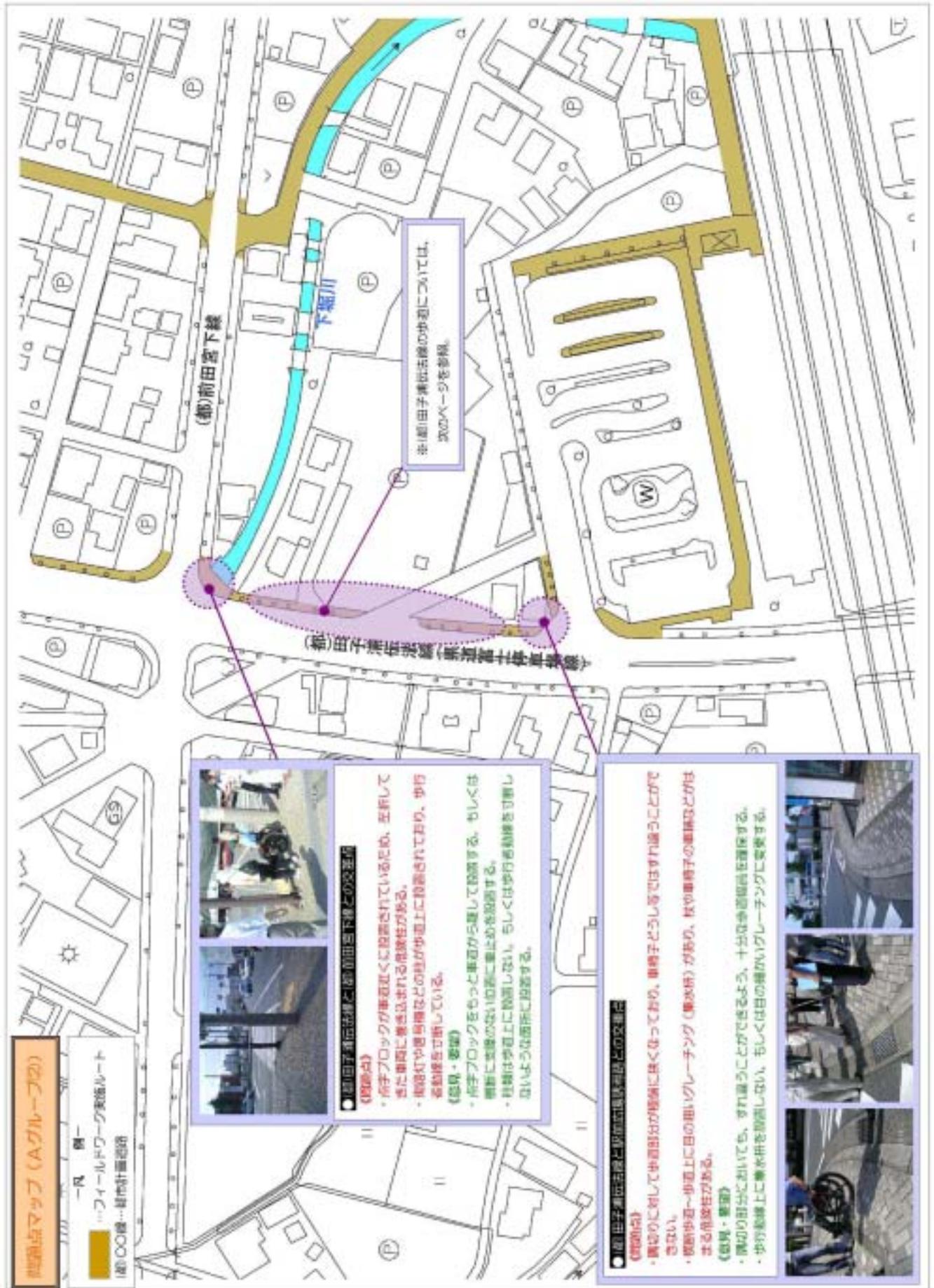
フィールドワークにより把握バリア・新たに発見したバリアを地図上に示し、「問題点マップ」として作成し、発表しました。

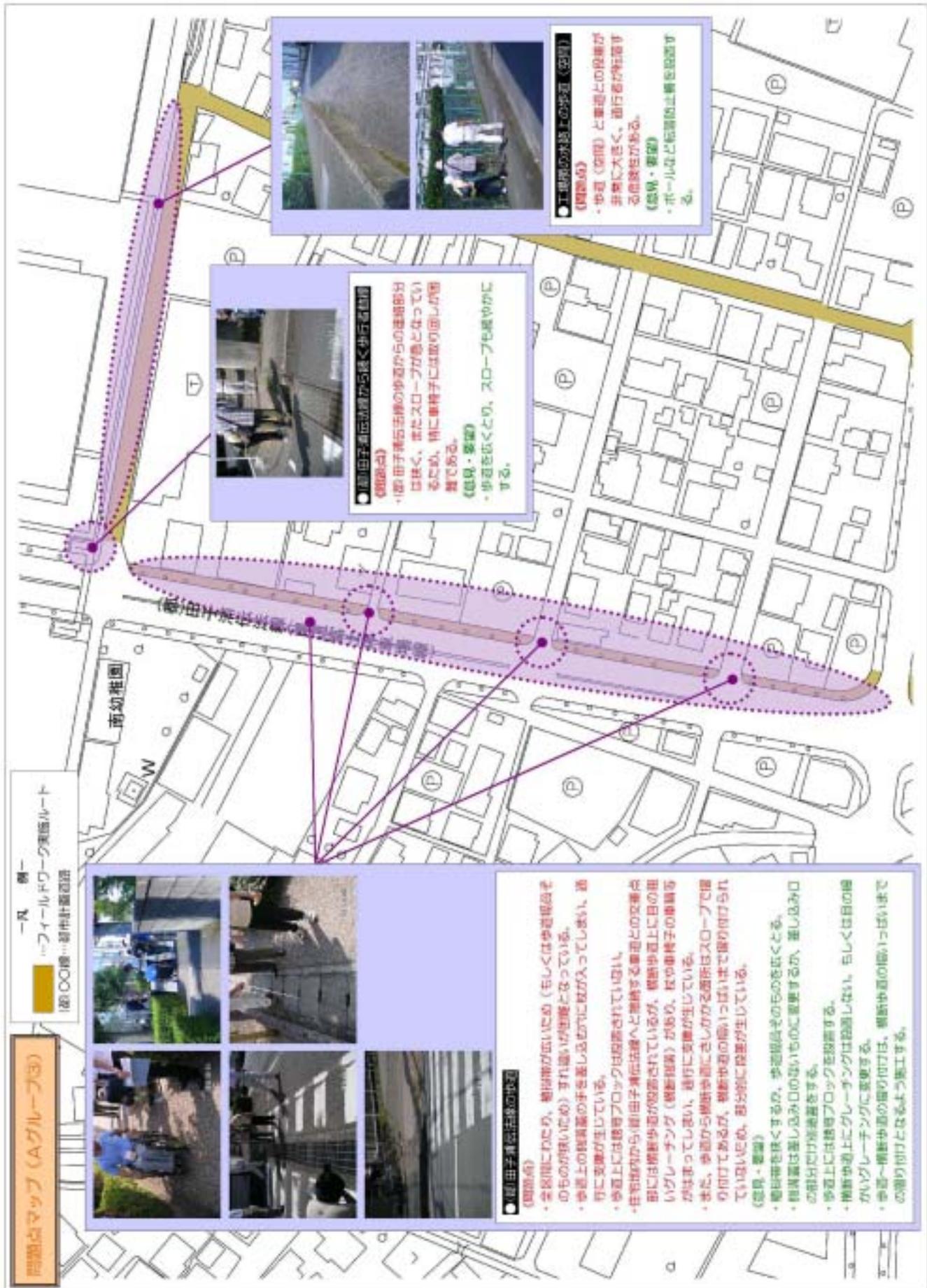


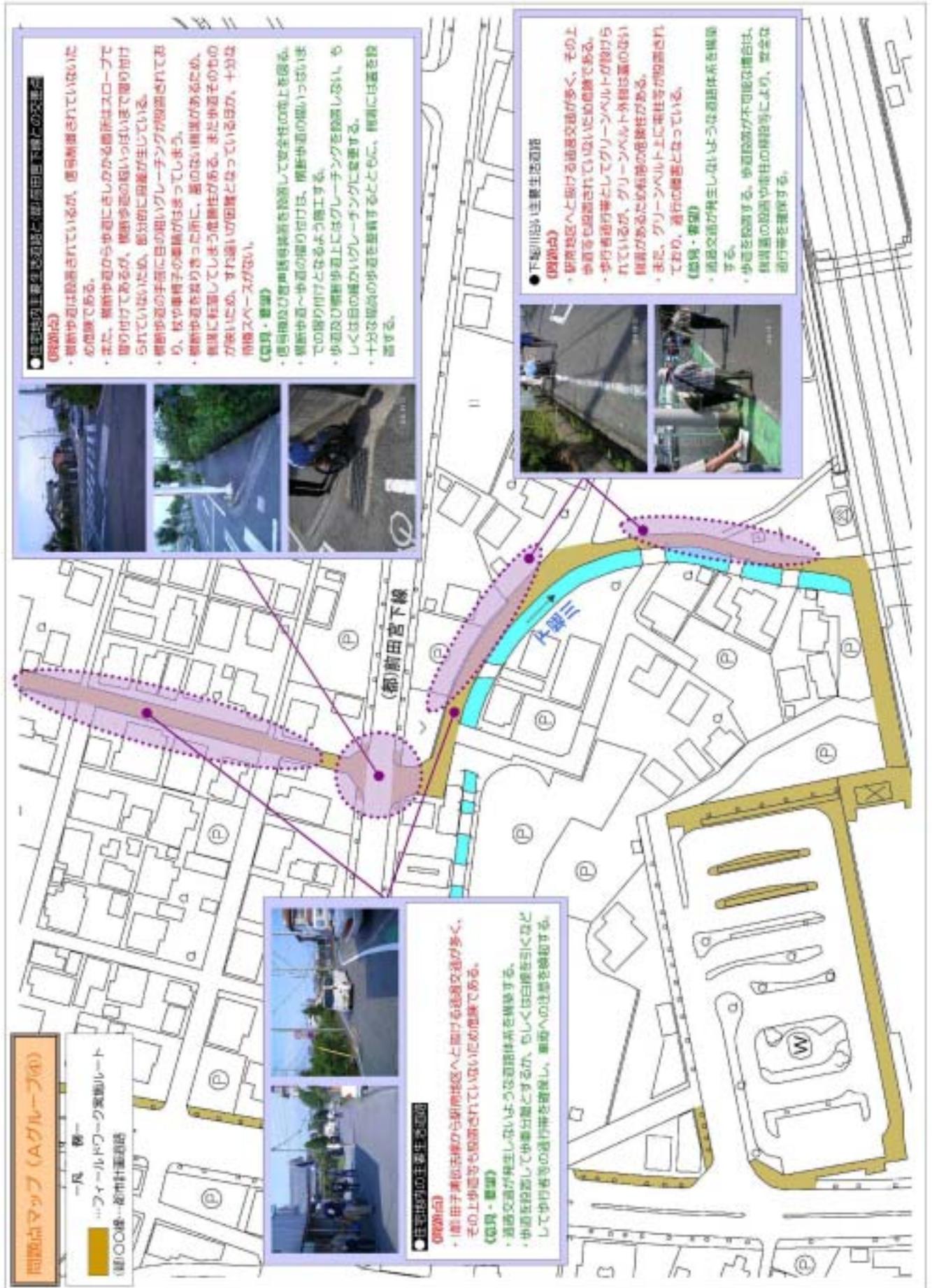
5 - 2 問題点マップ

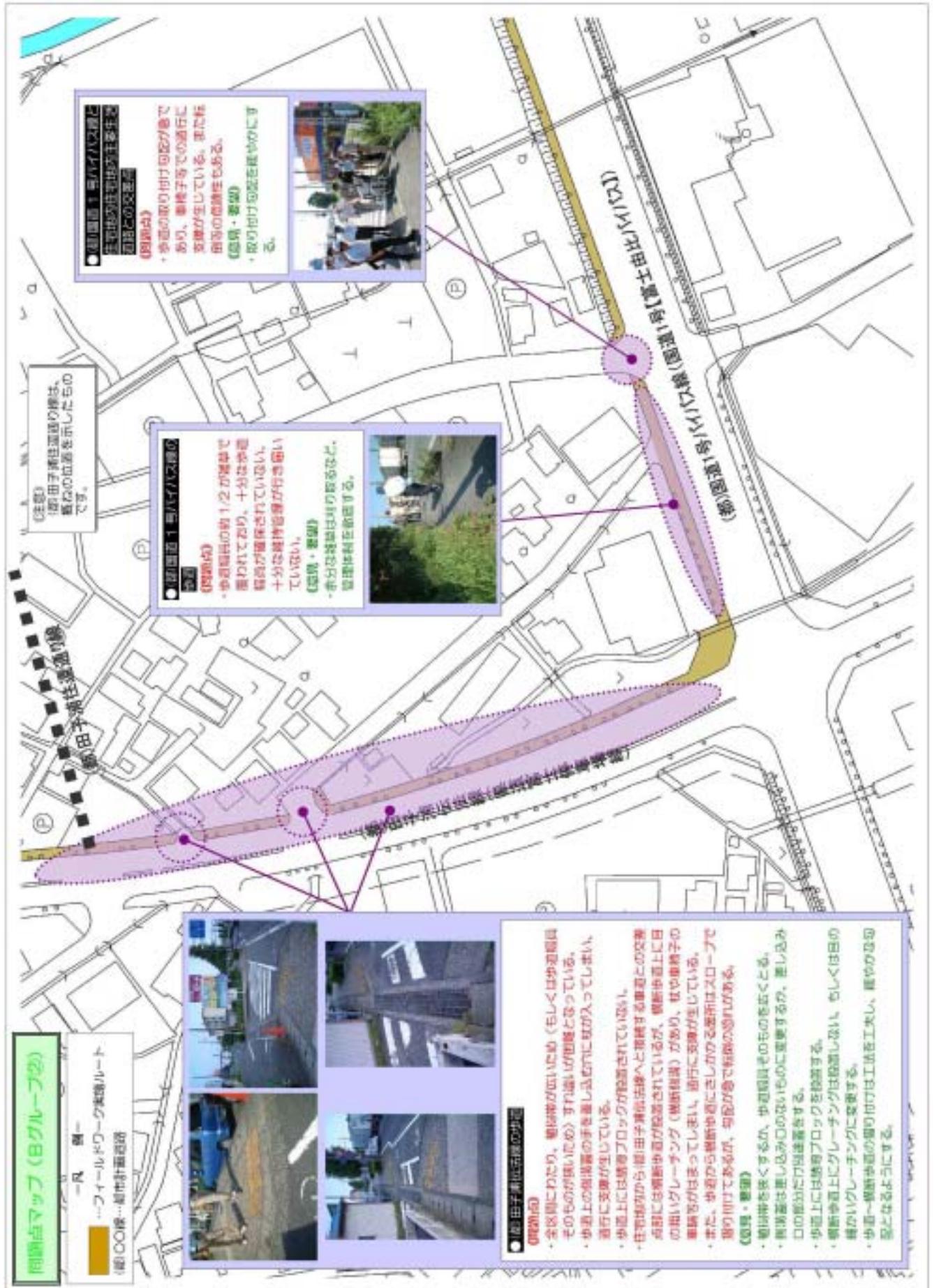
フィールドワークにより作成した問題点マップを次ページ以降に示します。











問題点マップ (Bグループ)

凡例

- …フィールドワーク実施ルート
- (●) 〇〇線…都市計画道路



● 田子浦地区の状況

(問題点)

- ・全区間にわたり、歩道幅が狭いため（もしくは歩道幅員そのものが狭いため）すれ違いが困難となっている。
- ・歩道上の無計画の手を差し込み等に妨が入ってしまい、通行に支障が生じている。
- ・歩道には防音ブロックが設置されていない。
- ・住宅地から田子浦往法隆へと接続する車道との交差点付近には横断歩道が設置されているが、横断歩道上に目の悪いグレーチング（横断歩道）があり、杖や車椅子の乗降がはまってしまう、通行に支障が生じている。
- ・また、歩道から横断歩道にさしがる遊歩道はスロープで降りかけてあるが、勾配が急で転倒の恐れがある。

(留意・要望)

- ・歩道幅を狭くするが、歩道員そのものを広くとる。
- ・無計画は差し込みの少ないものに変更するが、差し込み口の部分だけが別途着る。
- ・歩道には防音ブロックを設置する。
- ・横断歩道の上にグレーチングは設置しない、もしくは目の悪いグレーチングに変更する。
- ・歩道～横断歩道の間の降り付は工務工木し、緩やかな勾配となるようにする。

(注意)
田子浦往法隆通りは、概ねの位置を示したものです。

● 田子浦往法隆通りの状況

(問題点)

- ・歩道幅員の約1/2が歩道幅で覆われており、十分な歩道幅員が確保されていない。
- ・十分な維持管理が行き届いていない。

(留意・要望)

- ・歩道幅員は対り取るなど、歩道幅員を確保する。



● 田子浦往法隆通りの状況

(問題点)

- ・歩道の取り付け勾配が急であり、車椅子等の通行に支障が生じている。また、側道の危険性もある。

(留意・要望)

- ・取り付け勾配を緩やかにする。



